

About Shinagawa

品川区プロフィール

▶ 人口総数

392,213 人

うち外国人 12,735 人

出典：品川区公式HP
「住民基本台帳による世帯と人口」
[2018(平成30)年7月1日現在]



大崎地区

高層ビル群と目黒川の桜並木や緑地等が交差する副都心。

品川地区

歴史と伝統が息づく旧東海道と洗練された臨海部のまちなみが共存。

荏原地区

多くの住宅があり、特徴的な複数の商店街が活気を生む。

大井地区

大井町駅周辺に商業・文化施設、行政機能が集積。

八潮地区

緑と水辺に囲まれた、快適な住環境と東京2020オリンピック会場。

日本
Japan

東京都
Tokyo

23区
23 Cities

品川区
Shinagawa City

東京湾に面した臨海部と、山の手に連なる台地からなる品川区。古くから交通・交易の拠点として栄え、江戸時代には東海道第一の宿としてにぎわい、明治時代には京浜工業地帯発祥の地として発展してきました。現在も、羽田空港の国際化、品川駅への新幹線乗り入れ、大崎駅西口バスターミナルの整備など、交通の要衝となっています。2027年には、リニア中央新幹線の開業も予定され、品川区は国際都市東京の表玄関として、ますますその重要な役割を担おうとしています。

▶ 品川区のロケーション 交通インフラ

40 駅 14 路線

▶ 空港へのアクセス



▶ 年少人口(0-14歳)

3年で **3,000人**
以上の増加

出典:「品川区の統計」2007(平成19)年-第46回-
「品川区の統計」2017(平成29)年-第56回-

10年前と
比較して約 **13%増**

▶ 合計特殊出生率

1.25

出典:厚生労働省「人口動態統計」HP、
東京都福祉保健局「人口動態統計」HP、
地域振興部地域活動課統計係

▶ 認可保育園定員数

9,925人

出典:品川区調べ
[2018(平成30)年4月1日現在]

10年前と
比較して約 **5,800人増**

▶ 区民の定住意向

89.0%

出典:品川区世論調査[2016(平成28)年11月]

東京都平均よりも **10.5** ポイント、
区部平均よりも **9.4** ポイント高い!

▶ 人口ピラミッド(5歳階級別人口)



出典:住民基本台帳に基づく年齢(各歳)別人口(2018(平成30)年1月1日現在)

▶ 面積

22.84 km²

出典:「品川区の統計」
2017(平成29)年-第56回-



▶ 公園数

274カ所

出典:「しながわの公園」
2018(平成30)年版

▶ 一人あたり公園面積

3.50 m²

出典:「しながわの公園」
2018(平成30)年版

▶ 日曜開庁

のべ **30** 万人利用



日曜開庁 **10** 年、
行政サービスコーナー **3** カ所
(大井町、武蔵小山、目黒)

▶ 町会・自治会

201



▶ 地目別土地面積

総計 **1,365.65 ha**

79.56 ha **145.42 ha** **928.70 ha** **0 ha** **211.96 ha**



出典:「品川区の統計」2017(平成29)年-第56回-

▶ 商店街

104 カ所

▶ 児童センター

25 館

出典:品川区公式HP
「児童センター一覧」

▶ 指定文化財

142

▶ 大使館

12 カ国

出典:品川区公式HP「品川区内の大使館・領事館の紹介」

▶ 名誉領事館

2 カ国

▶ 総領事館

2 カ国

▶ 品川区民活動
情報サイト
「しながわ
ずまいるネット」

521 団体

▶ しながわCSR
推進協議会
会員

75 社

▶ 防災区民組織

200

▶ 消防団

700 人(定数)

出典:総務省消防庁公式HP
「あなたの街の消防団」

※特に出典の記載のない場合は、品川区調べ[2018(平成30)年7月1日現在]

Timeline

“今”そして“未来”へ
つながるベクトル



東都名所
御殿山花見 品川全図：
歌川広重(初代)



官営品川硝子製造所
(1960年代中頃)

縄文時代(前期) 平安時代(末期) 室町時代 1601年 1639年 1853年 1869年 1872年 1873年 1877年 1914年 1923年

縄文時代～
安土桃山時代

居木橋貝塚を中心に縄文前期の集落が営まれる。
大井氏と品河氏が現在の品川区域を支配。
品川が水上交通・輸送の拠点として発展。
東海道第一番目の宿場として品川宿が設置。
徳川家光が沢庵のために東海寺を創建。「たくあん漬」発祥の地!?

1603～
江戸時代

海防のため品川台場の築造が始まる。
品川～横浜間で鉄道
日本初の近代(後の
モース博士が大森貝塚を発見。日本考古学の



1868～
明治

ガラス工場・興業社設立。
官営品川硝子製造所)
はじまり。
白煉瓦で作られた。
関東大震災発生、多くの被災者が品川区へ避難。
品川区・荏原区が合併、品川区に。初の区長選。
八ッ山橋にゴジラが東京初上陸。
武蔵小山商店街、



品川ゆかりの
幕末・明治の

偉人たち



さか もと りょう ま
坂本龍馬
(1835～1867)

土佐藩郷士。ペリー来航時に江戸警固のため、品川の土佐藩下屋敷にて守備についたとされる。倒幕・明治維新へと続く時代の奔流の中で、数多くの志士に大きな影響を与えた。



いた がき たい すけ
板垣退助
(1837～1919)

土佐藩士。幕末・明治の政治家。幕末には藩の世論を尊王・倒幕へ導いた。維新後、愛国公党、のちに自由党を結成。自由民権運動の先頭に立つ。区内には彼と彼の夫人の墓が残る。





1964年 東京オリンピック 聖火ランナー

大森海岸駅前から浜川中学校前、旧品川区役所前（現品川保健センター）、大崎陸橋を経て目黒区へ。写真は旧品川区役所前。



2016年 区内を縦断するゴジラ

東京湾から上陸し、品川駅前で二足歩行に進化。八ツ山橋陸橋で自衛隊ヘリコプターと対峙した。（映画『シン・ゴジラ』）

©2016 TOHO CO., LTD.



2017年 全国シティブロモーションサミット2017

2015年からスタートしたシティブロモーション。2017年には「全国シティブロモーションサミット2017 in Shinagawa」を開催。

1947年 1954年 1956年 1963年 1964年 1971年 1989年 1991年 2001年 2006年 2015年 2016年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2027年

1926~ 昭和

都内初のアーケード完成。
首都高速1号、本町～鈴ヶ森間開通。
東京オリンピック開催。都市インフラの整備が進んだ。
子どものアイデアを取り入れた「子供の森公園」開園。



1989~ 平成

「すまいるスクール」小・中学校で9年間の一貫教育スタート。
品川区
シティブロモーションスタート。
大崎駅西口バスターミナル完成。
ゴジラが東京湾から上陸。（映画『シン・ゴジラ』）
品川区
シティブロモーションスタート。



2019~ (未来)

東京2020オリンピック・パラリンピック開催予定。
大井ホッケー競技場
2016(平成28)年6月時点の大会後イメージ図
資料提供:東京都
品川区
3競技応援キャラクター
リニア中央新幹線
©Central Japan Railway Company.
All rights reserved.



やまうち とよしげ ようどう 山内豊信(容堂) (1827~1872)

土佐藩15代藩主。幕末四賢侯の一人。土佐藩の藩政刷新に努め、將軍慶喜に大政奉還を建白するなど、幕政にも大きな影響を与えた。立会川付近にあった土佐藩下屋敷に隠居・謹慎していた。



いのう えまさる 井上勝 (1843~1910)

長州藩士。伊藤博文らと脱藩し渡英。鉄道・鉱山学を学ぶ。1871年に初代鉄道頭に就任。翌年、品川・横浜間が仮開通。日本の鉄道創設・発展に尽力。東海寺大山墓地に墓所がある。



いとう ひろぶみ 伊藤博文 (1841~1909)

長州藩士。維新の功臣。初代内閣総理大臣。倒幕運動に加わり、御殿山英国公使館焼き討ちにも加わる。その後、渡英。維新後は欧米諸国を巡る。憲法制定に尽力。区内に墓所がある。

